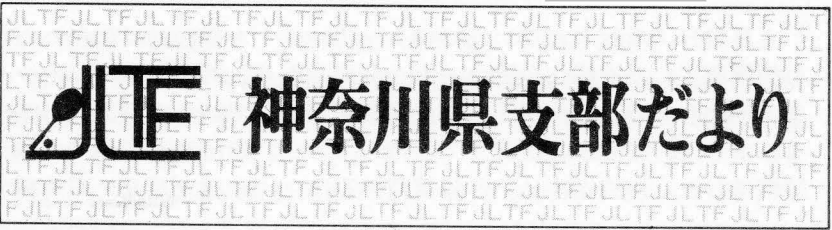


第14号



事務局

北原洋子

神奈川県支部 創立15周年を迎えて!!

支部長 伊波昭子



日本女子テニス連盟神奈川県支部もめでたく創立15周年を迎えることになりました。僅か15名でスタートした支部が、今日までに成長できましたのは、県協会、各クラブ及び、女子連本部、各支部の御支援のおかげと心より感謝しております。また、支部の基礎をしっかりと築いて下さった諸先輩方の並々ならぬ御苦勞に対し、改めて御礼申し上げます。さて「満15才」は人間の一生で言いますと丁度、中学卒業の年です。暖かく保護されての基礎作りを終え、

社会に対する責任と義務を自覚し、やがて実践していかなばならぬ時期であると思います。私達の支部もその時にさしかかったのではないのでしょうか。内部の充実は勿論のことですが、今迄お世話になってきたテニス界に私達のできる範囲でお手伝いし、協力していくことも大切かと思ひます。例えば、会員がビギナーの模範になる正しいマナーでプレーすること、或いは、審判の手伝い等身近なことから一歩一歩進んでいきたいと思ひます。皆様の一層の御協力をお願い致します。

⑨ 昭和44年4月にスタートした神奈川県支部は、正確には創立15周年は昨年(59年)でしたが記念式典を行う会場—湘南スポーツセンターの施設の完成が遅れた為、時期がずれ、去る5月8日盛大に式典を行いました。その時の様子や発足当時の貴重なお話は、今回特集を組みましたので是非御覧下さい。尚、今年は会員も2282名になり心強い限りです。

M M C 桑名杯

MMC・桑名杯は各ブロックごとに予選が行われ、参加数293組の中からAブロック—22組、Bブロック—22組、Cブロック—20組の計64組が県大会へ出場しました。今年は梅雨の中やすみがなく連日の雨でどの大会も日程が狂いましたが、本大会もやっと6月27日、上郷グリーンヒルTCで準々決勝、準決勝、決勝を行いました。優勝は松岡・氏原組、準優勝—平野・伊藤組、第3位—渡辺・上野組と有馬・前田組でした。決勝が延びなければ桑名会長もおいでいただけたのに残念でした。

⑩優勝者にインタビュー⑩

Q1 どんな気持でプレイしましたか。 A 1つ1つ初戦と思ってやってきました。

Q2 苦しかった試合は? A 準々の時、相手は全くミスしないのでとてもやりにくく、相手に合わせていつチャンスボールを決めたり、2人後へさがったりいろいろ試みました。

Q3 今後の抱負は? A 多くの人達とテニスをしていろいろな型のペアーに勝てるようにする事を課題としていきます。

※ MMCとは三菱自動車の略で本年から特別協賛していただくことになりました。



優勝の松岡・氏原組
準優勝の平野・伊藤組

第7回 県支部ダブルス

6月11日より行われていたこのトーナメントも徹底的に雨にたたられ予定が大巾に狂い、コートも相模原TCから横山公園コートへ変更したり、湘南スポーツセンター屋内コートを借りて準決勝まで消化しました。決勝・三位決定戦を予定していた6月22日も雨で出来ず、少し先に延ばす事になりましたので結果は次号までお待ち下さい。選ばれた19組での戦いですから、どの試合も非常に接戦でした。決勝進出は、昨年優勝の石田・山本組と 大谷・二之宮組 です。

第9回 サンケイリビング, コカ・コーラ杯 三回目の栄冠 高橋・姫野組に!!

年・盛況となっているこの大会も今年は500組が参加して5月20日より始まりました。場所も横浜コートピアTC、エグザス天王町TC、ダイヤモンドTC、上郷グリーンヒルTC、湘南スポーツセンターに分かれました。決勝は5月31日、ダイヤモンドTCで行われました。

優勝 高橋・姫野組 準優勝 小川・山本組 第3位 佐藤・河村組 高田・西牧組



優勝の「ひみつ」

4年以上組んでいる2人はお互いに絶対的に信頼し、劣勢にあっても1本挽回すれば必ずそのゲームは取れるという信念と負けず嫌いの性格がこれ迄の成績となっている。

(姫野談) 2月以来のペアなので新鮮な気分でゲームし、大切にしたい。姫野さんがバックボレーのファイナルショットをマスターした事が勝因の1つ。1試合ずつ目標を成就していくよう心がけている。どうしても負けられない、1本

も相手にやれない時、そこをはね返すのがテニス、試合中コートには4人しかいない。相手を尊敬し、気持ちよく、楽しく一生懸命テニスをする事に気をつけている。(高橋談)

準優勝の小川さんは盲腸手術後1ヶ月で試合に出て傷は気にならなかったが練習不足で良いゲームができなくて残念だったと話していました。

県支部ブロック別トーナメント

27回 60.

ブロック	と き	と こ ろ	参加者	結 果
A	4 / 9 ~ 4 / 11	霧ヶ丘テニスクラブ	81組	優勝 足立・両角 準優勝 小林・小 第3位 村野・入 〃 山本・田
B	4 / 15 ~ 4 / 17	金沢グリーンテニス	151組	優勝 佐藤・河村 準優勝 西牧・米山 第3位 桜井・宮崎 〃 深井・平田
C	4 / 15 ~ 4 / 17	寒川ローンテニスクラブ 平塚桃浜コート 高麗山テニスクラブ 湘南平テニスクラブ	180組	優勝 河田・長島 準優勝 北宮・倉橋 第3位 三竹・大勝 〃 星野・湯山

第5回 審判講習会

2月27日、鎌倉市体育館会議室で伊波支部長による審判講習会が行われました。45名の参加者は寒さもものとせず、熱心に受講しました。新ルールの説明と共に、今回は「ソコS、チェアC、アンパイアU」について勉強しました。SCUは1人で総てのラインのコールは難かしく、ミスジャッジがでる。またセルフ・ジャッジではプレーヤーがコールするので声が小さかったり、忘れていたりしてトラブルが起こるのでこれらの欠点を補うものとしてSCUが考えられました。●ボールのアウト、セーフの判定はセルフ・ジャッジ、●アンパイアはスコアをコールし、カードに記入することが主な事柄です。

第 5 回 テニス講習会

講師におなじみの本井満、中西伊知郎、熊本昌広、土持耕治、梅本順三の各氏を迎え、5月15・16日、横浜スポーツマンクラブで行われました。今回は初めて指導者向けの講習も設けられ延べ155名が参加しました。以下受講者に聞きました。指導者向けは「指導の仕方、でなく指導者の練習方法でした。上級者向けの内容にスピードをつけたり、正確さを要求され、2時間息のつく間もない程密な講習でした。講師の球出しを受けてこんな風に球出しをすればいいなとわかった点も収穫でした。ストローク、ボレー、スマッシュ、サーブそれぞれの4つのポイントとそれに対するいろんな練習をしました。来年も1人でも多くの方が受講されると良いと思いました。(加藤)

初参加なので驚く事ばかりでした。受講者のほとんどが各トーナメントで活躍されている方ばかりで不安になったり、又ハンサムな講師の指導にあがってしまったりで実技を一生懸命やるのが精一ぱい。ストローク、ボレー等の要点をしっかりと聞く余裕がありませんでしたが、上級者の熱心なプレーを目のあたりに見ることができて、とても勉強になりました。(松本)

4 5 会 員 親 睦 会

12回目を迎えた45会員親睦会は6月3日、他支部の方に「海の見える素敵なコート」と大好評の鎌倉シーサイドテニスクラブに、120余名が集まり行われました。顔見知りになった他支部の方々との再会を喜んだり、おしゃべりにも花が咲き、楽しい1日を過ごしました。例年はずっと沢山の方々が来て下さいますが、今年は各支部での催しと重なって、不参加の方々が多くて少しさみしい感じがしました。幸い好天に恵まれて午前中はコート別に分かれ、その中でペアを組みいろんな方とゲームをし、午後はフリーにして組みたい人と組み、テニスを楽しみました。同年配の方、そして他支部の方達とテニスをしてお友達になったり、「あら、私と同じ年なのにあんなにファイトがある、頑張らなくては。」と発奮したり大変有意義な集まりでした。(岩本)

第 2 回 関 東 五 都 県 大 会

今年は茨城がお世話して下さいるので5月28日土浦まで行きました。降雨確率60%でしたのでお天気が大変心配でしたが、どうやら降らずにテニスができました。京成ホテルコート他で1県5組で1チーム作り、試合が始まりました。神奈川は、ブロック別ダブルストーナメントの準優勝のAブロック小林・小林組、Bブロック優勝の佐藤・河村組、Cブロック優勝の河田・長島組、そして役員の天野・酒井組、桑原・大谷組で臨みました。リーグ戦で行われ、ここでも神奈川は強く河田・長島組がタイブレイクの末、貴重なポイントを取り見事優勝しダンロップ寄贈の立派なカップをいただきました。優勝—神奈川、準優勝—東京、三位—埼玉、四位—千葉、五位—茨城の順でした。「テニスはまだこれからです。」とおっしゃっていましたが、素朴で暖かいおもてなしをして下さり一生懸命大会を進めて下さった様子はとても素晴らしく「人間、強いだけがすべてでない。もっと他に大切なものがある。」ということに改めて感じ、さわやかな気分で帰って来ました。次回は千葉県がお当番です。

(大谷 談)



ち ょ っ と 一 言 (テニスマナーについて)

会員の皆様はもうテニスマナーが身につくまで、気持ちよくテニスをいていらっしゃる事と思いますが、もう一度お考えください。

1. ズボンの上にスカートをはいてテニスをしますと、コート上でズボンを脱ぐ事もあり余り見た目によくありません。立派なプレーヤーのこの様な姿を見ると格好良いと感じ真似をしてしまいますので気をつけたい事です。2. ゲーム中はコート上の傍や後は通らないように。3. チェンジコートの時は目上の人に先を譲りましょう。4. ボールを拾ってあげる時、ラケットで返さないで相手の目を見てワン・バウンドで受けとれるよう手で渡しましょう。5. かけ声、奇声はなるべく慎しんで、テニスを楽しんで下さい。

第7回 朝日レディーステニス大会 神奈川県予選実施要項

期 間 9月5日～9月20日

場 所 第1次予選・地区予選

横浜会場（本牧テニスコート）9月5・6・10・11日

平塚会場（桃浜テニスコート）9月4・5・6日（6日予備）

相模原会場（横山テニスコート）9月4・5・6日（6日予備）

第2次予選・県大会本戦

川崎会場（等々力テニスコート）9月17・18・19日（予備日20日）

種 目 女子ダブルス

参加資格

- ①既婚者および満30歳以上（昭和30年12月末日以前出生）の独身女性。
- ②自己の居住する都道府県（住民票はもとより、生活の基盤を置かれている県）より出場して下さい。
- ③以下の大会に出場した人は参加できません。
 - 全日本選手権（予選も含む、ジュニアを除く）
 - 国民体育大会（本大会のみ、ジュニアと現在40歳以上の人は除く）
 - 同大会に監督として出場者は可、選手兼監督での出場者は可。
 - 都市対抗出場経験者は可。
 - 全日本学生選手権（予選も含む）
 - 昭和59・60年度全日本ベテラン大会出場者。（50歳以上の部については除く）
 - 第7回全日本レディース軟式テニス全国決勝大会出場者。
- ④本大会出場経験者の参加制限は下記の通りです。
 - 2年連続全国決勝大会に出場した選手は、3年目の出場はできません。
 - 全国決勝大会でベスト4に入賞した選手は、以降の大会には出場できません。
 - 全国決勝大会で5位から8位に入賞した選手は、2ヶ年間は出場できません。

試合方法

3セットマッチ、各セット6オール12ポイントタイブレーク。（天候不順の場合は変更することもあります。）

その他については、本年度日本テニス協会競技規定による。

使用球

バンクラフトイエロー（大会指定球を準備します。）

服 装

白地のテニスウェアとテニスシューズを着用して下さい。

申し込み方法

第1次予選の行なわれる会場の内、希望の会場を明記の上、参加料を所定の全国統一申込書（後日各クラブに配付）に添えて現金書留で、会場別申し込み先に送付して下さい。

会場別申込先

○横浜会場 大場初子

○平塚会場 平塚テニス協会 朝日レディース係

○相模原会場 相模原グリーンテニスクラブ 橋場京子

参加料

1組 3,000円

申込期日

7月25日～8月19日（8月19日必着のこと）

問い合わせ先

大場初子

注意事項

1. 試合開始は各会場とも午前9時。出場者は指定時刻の15分前に、2人揃って試合のできる服装で本部に届けること。（定刻の呼び出しに応じられない組は、棄権とみなします。）
2. 天候その他により、試合の有無がはっきりしない時は、定刻までにコートに参集して下さい。試合日時の変更は、試合会場において発表いたします。（天候、その他の理由により、日程及び会場を変更することがあります。尚、試合方法も変更することがあります。）
3. 大会要項、参加申込書は、7月中旬までに、各クラブ宛配布の予定。

主 催 （財）日本テニス協会 ・ 朝 日 新 聞 社
後 援 日 本 体 育 協 会 ・ 日 刊 ス ポ ー ツ 新 聞 社
主 管 都 道 府 県 テ ニ ス 協 会 ・ 日 本 女 子 テ ニ ス 連 盟
協 賛 朝 日 生 命 保 険 相 互 会 社